



未来へつなげるスカウト活動

夜明けの星

団 NEWS No.284

日本ボーイスカウト川崎第46団

広報委員会発行

活動再開特集

「2020年の抱負

～コロナと共に歩む未来～」

団委員長 久保井 基隆

コロナ禍の中、スカウト、保護者の方々ならびに指導者はじめ関係者の皆様におかれては、大変な時期を過ごされていることと思います。本来であれば4月に寄稿するはずの



「夜明けの星」の執筆が7月も終わりになる今頃に執筆することになりました。クルーズ船のコロナウィルス感染拡大を皮切りに4月には緊急事態宣言が発出され、5月には発令解除されたものの、経済再開と共にまた感染拡大が広がりつつあります。2020年は本来であれば半世紀ぶりのオリンピックで日本中が活気に満ち溢れているはずだったと思うと大変残念なことです。正に本年度はコロナイヤーということになりそうです。当団においても活動を自粛し、7/5（日）によりやく再開宣言することが出来たのは幸いでしたが、ウィルス対策に万全を期し活動しなければいけないことは、スカウトにとりまして我々にとりましても大変残念だと言わざるを得ません。

さて、私ごとですが、このコロナ禍の状況を時々刻々、リアルタイムに「歴史」を学ぶ気持ちで、毎日を過ごしています。感染拡大に伴い学校生活、仕事などの日常は大きく様変わりしました。現在、世界で起きている出来事が、後で振り返って大きなインパクトがあるのは間違いありません。日常生活は大変ですが、それだけにとどまらないように深く考えたり学んだりする機会だと捉えています。現在、コロナウィルスが世界中に感染拡大し、猛威を奮っているわけですが、丁度100年程前にスペイン風邪が猛威を奮いました。その時の状況を時の政府（内務省衛生局）が精緻にまとめ編集されたのが日本連盟発足の年と同じ1922年に刊行された「流行性

感冒」という本です。たまたま、この本のことを知り、図書館にありましたので一読しました。色々な気付きや参考になることもありましたので、少しご紹介させていただきます。

スペイン風邪は、1918年から1921年にかけて猛威を奮った当時は未知のウィルスであったインフルエンザウィルスの事です。国内では3回流行し、全世界で2000万から4500万人が死亡、国内でも2380万人が罹り、約38万人が死亡と書かれています。同時期にあった第一次世界大戦の戦死者が世界で約1000万人と言われているので、被害の甚大さが如何に大きかったか推察される所です。ご紹介の「流行性感冒」には、一、二章では内外の過去の流行病について中世までさかのぼり、非常に詳細な年表が掲載され、各流行病の病状や被害状況も克明に書かれています。三章ではすでに「インフルエンザ・パンデミー」という文言も登場し、各国への拡散・被害状況、対応なども時系列を追って記されていて、当時の状況が想像できます。特に多くのページが割かれているのが第六章の「流行性感冒の病原」で、諸臓器の変化や症候、一般経過、熱の経過、など対症療法や看護上の注意などが克明に記載され、中でも「予防」の節では、興味深いことが書かれていますので原文のままご紹介します。

- ・粗製並製の「ガーゼ」のマスクは防御効果なし。
- ・談話の際に菌は四尺先まで飛んでいる。患者周囲の危険界は四尺。
- ・咳嗽（咳、くしゃみ）では十尺先まで飛ぶ。咳嗽患者周囲の危険界は最短十尺。
- ・マスクを使用することで、他の伝染経路（手の汚れ、不衛生な食物）をなおざりにする傾向がある。
- ・内輪の集まり（会社の事務室、友人間の社交的な会合等）ではマスクを取り外す者が多い。

※一尺は約38センチ

今の対処と同じことが書かれていることに驚きと共に未知のウィルスの前では出来得ることは変わらないのだと痛感した次第です。100年前の保健衛生の担当者の皆さんが、未知の病だった「インフルエンザ」というものにどう立ち向かい、核心に迫ろうとしていたか、その苦勞と意気込みがひしひしと伝わってくる一冊だと思いました。これからもマスク

着用、うがい、手洗いの励行など日常生活における
嗜みとして続いていくと思います。

先に今の大変な状況ではありますが、この先を見据え深く考えたり、学んだりする機会だとお話しましたが、ボーイスカウト活動においても然りです。現在の経験を糧に、良いところは取り入れ、継続していく、そして更に良いものにしていくということが大切だと思います。今年度のスローガン、「未来へつなげるスカウト活動」、正に我々が考えて、実行しなければいけないこととしての的を射たスローガンだと思います。これからワクチンや治療薬が開発され、今のインフルエンザ並の一定の安心感がもたらされるまで少し時間がかかると思いますが、この期間を無作為に過ごさず、より良い未来の糧になる様、皆さんと共に頑張りたいと思います。

最後に来年度は発団50周年となります。まだ、コロナウィルスの影響が垣間見られるかもしれませんが、その時出来る最高の年としたいと考えておりますので、引き続きのご協力、ご支援、何卒宜しくお願い申し上げます。(了)

各隊の活動

「VS 隊活動報告」

VS 隊隊長 渋谷 健太郎

年度末からの野外での活動自粛に伴い、VS 隊では LINE のビデオ通話を活用した隊会議から活動を再開しました。団ハウスを会場としての隊活動や隊会議の実施は、平日にしても土日にしても、時間を調整することが課題でありましたが、この LINE を活用することで、ほぼ全員が参加でき、また必要に応じて、目の前で調べものをしたり、記録としてオンライン上でメモが残せるメリットを体感したりしつつ、リアルな場での隊活動実施に向けて、準備をすすめてきました。

その他、社会貢献の観点から、医療従事者の方に対して何かできることを行いたいとのスカウトの申し出により、地元川崎市立多摩病院に対して、フェイスガードの作成・寄贈に取り組みました。上のローバースカウトとの協働で取り組みましたが、ベンチャー隊としては、高校2年生の仲井スカウトをプロジェクトリーダーとしてスカウト個々の進捗状況を把握したり、ローバー隊と合同会議を行ったりと短い時間の中で、作業を進めてくれました。

インターネットで公開している簡易フェイスガードの作り方を参考に、100円ショップで資材を集め、それぞれが分担して作り上げる。作業に余裕のあるスカウトが他のスカウトを支援し、目的に向けて取り組む様子は、まさにスカウトが取り組む活動そのものであると感じます。これまで川崎第46団として積み上げてきたものを、現在のスカウトが代表して実践してくれたものだと思います。

長い活動自粛を耐えてきたスカウトが次に目指すは、9月のキャンプです。現在、近隣の川崎第54団と合同で計画を進めており、実現に向けて準備を進めております。

現在、スカウトは4名。各年代1名ないし2名の体制ではありますが、自分たちの取り組むべき行動を考え実践できるメンバーがそろっています。次の団創立50周年に向けて、皆が一致団結し、この状況乗り越えていけるよう、積極的に活動していきたいと思います。

「2020年度始動」 CS 隊隊長 津嶋 直文

2020年7月5日、待ちに待った活動再開の日です。3月からの4か月間、新型コロナウイルス感染症対策のための活動自粛が終わりました。自粛期間4か月の間スカウトには、「静かなる隊集会」と称して自宅での活動をお願いしました。

KY シートによる危

険予知トレーニング、副長作成の世界に関する問題シート（偉人の国当て、お菓子の国当てなど）、キムスなど他団を参考にしつつ、スカウト諸君に活動してもらいました。

活動の様子は、ファイル共有サイトに



この世界は面白いのか？
(問題)

これは、世界には何かがあっているとします。



写真を保存してもらい、スカウト諸君の姿が見られました。

日本連盟提供の Google Meet を利用したオンライン集会も開催、短時間でしたが、スカウト諸君の肉声が聞くことができ、とても安心しました。

新型コロナウイルスが、なくなったわけではないので、活動時の対策を万全にし、慎重に活動を進めていきます。ご家庭におかれましたが、感染防止拡大対策を継続していきましょう。

新型コロナが収束するまでは、長い時間が掛かりそうです。皆で一丸となって困難を乗り越えましょう。



「さわって」 箱のなかになにかがあるか、さわってわかるかな



「かいで」 においをかいで、コップのなかみがわかるかな



「あじわって」 目かくしをして、このうまい棒は何味かわかるかな



「みて」 とんでいるものがなにかみえるかな



「きいて」 3人のリーダーは、それぞれなんとさげんでいるかな



ごかん・ろっかんゲーム みんな、よくできました。



行事・イベント

令和 2 年度 指導者表彰など

新型コロナウイルス感染症への対応により、今年度の地区総会や県連総会等は書面開催となりました。

活動再開の団集会において、それぞれ受章者に対して表彰が行われました。また、今年 1 月に開催された神奈川連盟創立 70 周年記念式典において、長田育成会副会長と後藤育成会常任委員が永年奉仕章を受章されました。

これまでの長年に渡る奉仕に感謝しつつ、今後の御奉仕もよろしくお願いします。おめでとうございます。

○神奈川連盟創立 70 周年記念 永年奉仕章

30 年以上に渡ってスカウト活動に奉仕をしていただいている登録済みの育成会員、団委員を含むスカウト指導者（日本連盟功労章・県連特別有功章特別有功章受章者を除く）に対し、神奈川連盟が授与する。

長田育成会副会長、後藤育成会常任委員



○川崎地区褒賞

多年に渡り功労のあった者（副長 10 年、隊長満 6 年など）に対し、川崎地区協議会が授与する。

大久保 BVS 副長、原田 BS 隊長、若島 CS 副長



○神奈川連盟 県連有功章

都道府県的に多年にわたり功績のあった者に対し、神奈川連盟が授与する。

渋谷 VS 隊長



○日本連盟表彰
・団 50 年章



登録継続が 50 年の団に対し、日本連盟が授与する。

・隊褒彰綬

登録通算 5 か年ごとの隊に対し、日本連盟が授与する。

50 年 : CS 隊



・特別年功章

隊長、副長、団委員長、副団委員長及び団委員として、それぞれ通算して満 5 年、10 年、15 年又は 20 年を超えて当該期間その任務にあつて十分責務を果たした者に対し、日本連盟が授与する。

10 年 : 原田 BS 隊長、若島 CS 副長



菊スカウト章授与式 (2020 年 7 月 5 日)

7 月 5 日 (日) 9 時 00 分から、三田第 4 公園にて菊スカウト章授与式が行なわれました。川崎地区副コミッショナーから伊藤帆孝スカウトに菊スカウト章が授与されました。



〈伊藤スカウト受賞コメント〉

ようやく菊章をとることができました。正直少し諦めかけていた部分もありましたが、ここまでやりとげて良かったと思っています。もちろん自分の頑張りのもあり取得することができましたが、何よりこれまで多くの人の支えがあったからからこそここまで成長することが出来たと実感しています。

今は上進してベンチャースカウトになりました。ボーイ隊では菊を目標に活動してきましたが上進したことにより、新たに目指すべき目標ができました。

これからはその目標を目指しつつ、菊スカウトとしてスカウト達のよき模範となることを忘れずにより進化した自分に出会えるように活動していきたいと思っています。これからも頑張ります！！

ビーバー隊新入隊紹介

ビーバー隊に松田百夏 (まつだももか) さんが、入隊しました。

カブ隊の怜明スカウトの妹さんです。

年中のころから活動にし、今年三田小に入学し、正式にビーバー隊の一員となりました。

すでに年下の参加者には教えてあげたり、面倒をみたり、やさしい面を見せています。

これからも隊活動をもりあげて、一緒にお友達をふやしていきましょう。



団集会 (2019 年 7 月 5 日)

7 月 5 日 (日) 9 時 30 分から、三田第 4 公園にて団集会が行われました。安全対策を行いながら、4 月に実施できなかった入隊式・上進式の代わりとなるセレモニーを行いました。団委員長から 2020 年度のスローガン「未来へつなげるスカウト活動」が発表され、発案者の原田スカウトに記念品が渡されました。ビーバー隊に入隊する松田スカウトがやくそくを宣言しました。上進するスカウトは決意を発表しました。



編集後記

今号は活動再開特集号です。

事業活動や学校の再開に合わせ、46団のボーイスカウト活動も、安全に配慮しながら元気に再開しました。

新型コロナウイルスの終息も見込めない状況ですが、新しい生活様式を实践して、拡大を予防しましょう。

〈広報委員〉

江川 豊、荒川 泰一

川崎46団のHP

<http://www.bsk46.com/>

